

大隅地域感染症情報 2018

第40週報（10月1日～10月7日）
大隅地域振興局保健福祉環境部

○定点医療機関からの定点当たり報告数

- ・インフルエンザについて管内での届出はありませんが、県全体では少しずつ増加しています。流行期に向けて、対応マニュアルの確認等の準備を行って下さい。
- ・鹿屋保健所管内の流行性角結膜炎は先週に比べて減少しています。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			37週	38週	39週	40週	37週	38週	39週	40週	40週	39週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
RSウイルス感染症	-	-	2.60	2.00	1.20	1.00	2.67	2.00	2.00	0.67	0.88	2.54
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.80	0.60	0.80	1.20	1.00	0.00	0.00	0.00	0.75	1.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.40	1.00	0.80	0.40	0.33	0.00	0.00	1.67	0.88	1.83
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	10.40	6.00	6.40	6.00	10.67	6.67	5.33	7.00	6.38	4.61
水痘	2.00/1.00	1.00	0.00	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20
手足口病	5.00/2.00	-	1.20	0.60	0.20	0.20	0.67	0.00	0.00	0.00	0.13	0.37
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.40	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.13	0.06
突発性発疹	-	-	0.40	0.80	0.80	0.60	0.33	0.33	0.00	0.33	0.50	0.69
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	1.00	0.20	0.80	1.60	0.33	0.33	0.33	0.00	1.00	2.13
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.60	0.80	0.60	1.60	0.33	0.67	0.33	0.00	1.00	0.28
急性出血性結膜熱	1.00/0.1	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	4.00	6.00	11.00	9.00						2.71
基幹定点疾患			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

■ 警報基準値以上 ■ 注意報基準値以上

○感染性胃腸炎について

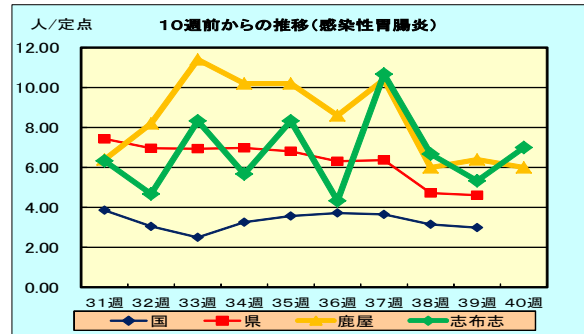
【警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0】

感染性胃腸炎の発生状況は、
鹿屋保健所管内からは30名（定点当たり報告6.00）
の報告がありました。

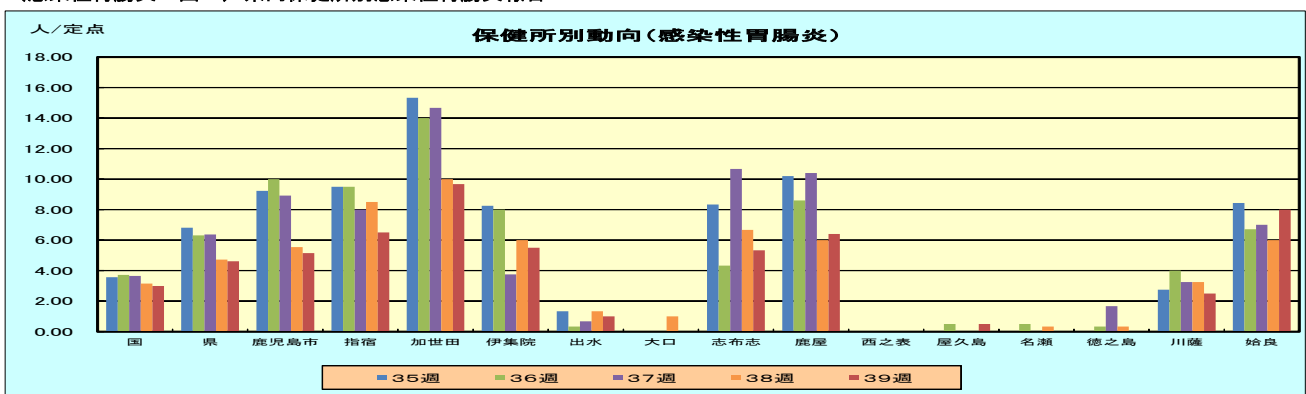
志布志保健所管内からは21名（定点当たり報告数
7.00）の報告がありました。

年齢別では、10～14及び20歳以上歳が最多で
した。

（感染性胃腸炎一図1）※第40週は鹿屋・志布志のみ掲載



（感染性胃腸炎一図2）県内保健所別感染性胃腸炎報告



○RS ウイルス感染症について

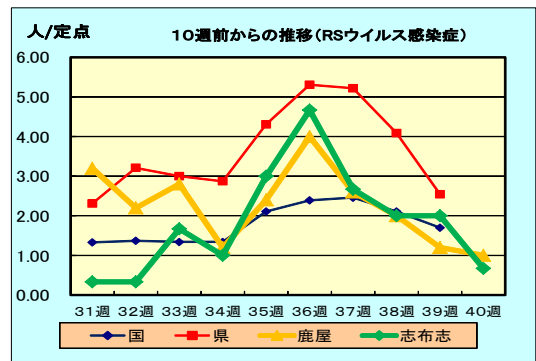
(RS ウイルス感染症一図1) ※第40週は鹿屋・志布志のみ掲載

RS ウイルス感染症の発生状況は、

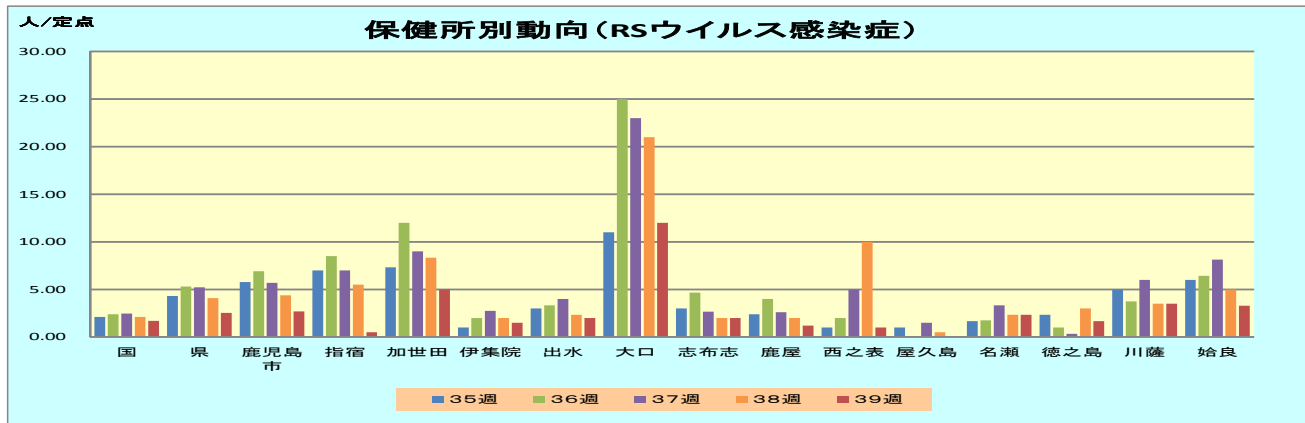
鹿屋保健所管内からは5名(定点当たり報告数 1.00)の報告がありました。

志布志保健所管内からは2名(定点当たり報告数 0.67)の報告がありました。

年齢別では、全員1歳以下でした。



(RS ウイルス感染症一図2) 県内保健所別 RS ウイルス感染症報告



首都圏を中心に全国的に風しん患者が増加中です

県の感染症情報でもお知らせしているとおり、8月末から首都圏を中心に風しん患者の増加が続いています。

報告された風しん患者は30代から50代の男性が多く、特に過去に感染したことが無く、ワクチン未接種の風しん抗体を保有していない人が中心となっています。

風しんは感染力が強く、風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が感染すると、眼や心臓、耳等に障害を持つ(先天性風しん症候群)子どもが出生する事があります。

妊婦への感染を防止するためにも、特に次のような方は抗体検査や任意での風しん予防接種を受けることについて、検討してください。

- ・妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族
- ・10代後半から40代の女性(特に妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い者のうち、明らかに風しんにかかったことがある、風しんの予防接種を受けたことがある又は風しんに対する抗体が陽性であると確認ができていない者を除く)

